

日本図書館協会の設置する図書館の在り方検討会による 図書館見学会報告（概要）

1 第1回図書館見学会（2017年度第3回検討会）

日時 2018年1月29日（月） 10時30分～16時20分

会場 松竹大谷図書館，石川武美記念図書館，日本交通公社旅の図書館

(1) 公益財団法人松竹大谷図書館

基本事項	利用料金：無料，開館時間：平日10時～17時 サービス：閲覧，レファレンス，複写
沿革	1958（昭和33）年，開館 2003（平成15）年，現在地に移転・開館 2011（平成23）年，公益財団法人へ移行
組織	公益財団法人
資料	・演劇・映画に関する資料。図書，雑誌，台本，写真，プログラム，ポスター，宣伝用プレスシート，関連記事のスクラップブック等 ・すべて閉架式。日本十進分類法と独自分類によって整理されており，カード目録と検索システムにより検索・請求
特色	・独自のレファレンスツールを備え，司書が公演プログラムなどに掲載される過去の演目等に関する原稿の作成にあたっている ・保存箱購入資金等をクラウドファンディングで調達している

(2) 一般財団法人石川武美記念図書館

基本事項	利用料金：入館料（300円），開館時間：平日10時～17時（但し第一月曜，木曜休），土曜10時～17時 サービス：閲覧，レファレンス，複写，（図書のみ貸出）
沿革	1941（昭和16）年，女性専門の私立図書館「お茶の水図書館」設立 2003（平成15）年，現在地に移転，専門図書館に 2013（平成25）年，一般財団法人へ移行
組織	一般財団法人
資料	・特色ある資料群として，近現代の日本の女性雑誌を核とした「近代女性雑誌ライブラリー」と徳富蘇峰の旧蔵書等の貴重資料群からなる「成實堂文庫」（閲覧は予約制）がある
特色	・女性雑誌について明治から戦後までの網羅的収集を目指し，欠号補充に努めている。記事検索の利便性向上（雑誌目次部分のファイリング等），資料のデジタル化。 ・資料の保存を重視。配架の工夫，中性紙の保存箱による保管，空調，原本主義（雑誌の製本はせずもとのまま保存・利用に供する）等

(3) 公益財団法人日本交通公社旅の図書館

基本事項	利用料金：無料，開館時間：平日 10 時～17 時 30 分 サービス：閲覧，レファレンス，複写，有料 DB・E ジャーナル，デジタル資料
沿革	1912（明治 45）年，ジャパン・ツーリスト・ビューローとして創業 1945（昭和 20）年，財団法人日本交通公社に名称変更 1978（昭和 53）年，日本交通公社，観光文化資料館（現図書館の前身）を設立 1963（昭和 38）年，営業部門を「株式会社日本交通公社」（現・株式会社ジェイティービー）として分離，調査研究機関となる 1999（平成 11）年，旅の図書館と改称 2012（平成 24）年，公益財団法人となる 2016（平成 28）年，現在地へ移転（移転時に法人本部の資料室と図書館を統合）
組織	公益財団法人
資料	・観光の研究・実務の参考に資する図書・資料（観光・旅行に関する文献，研究書・実務書，調査研究報告書，観光統計資料，学術誌・研究雑誌など） ・観光に特化した収蔵資料の特徴に対応するため，分類に観光研究資料（T 分類），財団コレクション資料（F 分類），基礎文献（NDC 分類）を使用（独自分類は現地移転に際して法人の研究員らと作成）
特色	・公益財団法人移行の際に職員全員が参加して，2022 年度を目標年次とした長期経営計画「'22 ビジョン」を策定し，その基本方針の中で「『旅の図書館』が実践的な学術研究機関の一組織として、効果的に機能する。」と記している ・施設を図書館・法人研究部門の共用とすることで，建物全体を観光研究のネットワーク拠点に。1 階・地下 1 階に図書館，2 階に研究・事務スペース等が配され，地下 1 階にはシンポジウムやイベントを開催できる空間が設定されている ・財団は，観光文化の振興に貢献する「実践的な学術研究機関」を目指し，そのための事業として調査研究，出版やシンポジウムの開催，旅の図書館などを位置づけている ・2016 年には文部科学省から学術研究機関の指定も受けている

2 第2回図書館見学会（2017年度第5回検討会）

日時：2018年2月20日（火） 10時～17時

会場：味の素食の文化センター食の文化ライブラリー，機械振興協会 BIC ライブラリ，国際文化会館図書室

(1) 公益財団法人味の素食の文化センター食の文化ライブラリー

基本事項	利用料金：無料，開館時間：平日 10 時～17 時，土曜 10 時～17 時 サービス：貸出，閲覧，レファレンス，複写
沿革	1989（平成元年）年，財団法人味の素食の文化センター設立 1991（平成3）年，本社ビル別館（京橋）に「食の文化ライブラリー」開館 2004（平成16）年，味の素グループ高輪研修センターに財団と図書館が移転。 2013（平成25）年，公益財団法人に移行
組織	公益財団法人
資料	・食文化の研究や普及啓発に役立つ資料全般。 食関連資料，食の安心・安全等，料理の本，食文化の興味喚起につながる資料（児童書，マンガを含む），錦絵，古典籍，社史，財団制作映画，希少雑誌など ・自由閲覧を前提とした独自分類による開架式
特色	・貸出可（要利用カードの発行），業務委託による土曜開館 ・食に関する古典籍約 300 点をデジタル化し，国文学研究資料館の「新日本古典籍総合データベース」で公開 ・「スタッフ発掘本コーナー」「テーマ本紹介コーナー」など，書架付近に小規模な展示スペースを設けている ・味の素大阪支社の図書館，女子栄養大学図書館，東京海洋大学図書館と提携 ・2017 年に図書館運営委員会にあたる「食の文化ライブラリー委員会」を発足

(2) 一般財団法人機械振興協会 BIC ライブラリ

基本事項	利用料金：無料，開館時間：平日 10 時～17 時 サービス：貸出，閲覧，レファレンス，複写
沿革	1964（昭和 39）年設立。前身は旧機械工業振興協会の図書資料部 2011（平成 23）年リニューアル 「BIC ライブラリ」（BIC：Business Information Commons）として開館
組織	一般財団法人
資料	・研究者のみならず，企画・広報担当者も使える資料を備える 機械産業に関する図書資料，雑誌，統計，企業情報，調査レポート，団体報告書などデータベース，電子ライブラリなど ・資料は機械振興協会分類表により分類
特色	・ラーニングコモンズ風の会議室，個人利用スペース等を設置 ・BIC ライブラリ会員制度あり。会員は館外貸出も可 ・専門図書館横断検索「deep library project」にも参加

(3) 公益財団法人国際文化会館図書室

基本事項	利用料金：会費制（図書会員：6000 円），開館時間：平日 9 時～18 時，土曜 9 時～18 時 サービス：貸出，閲覧，レファレンス，複写
沿革	1952（昭和 27）年，国際文化会館設立。日本人と米国その他の諸国人との文化交流と知的協力をはかり，国際親善と理解を促進することを目的に設置される。 1953（昭和 28）年，図書室を設置
組織	公益財団法人
資料	・日本に関する学術系英文出版物（社会科学・人文科学），国際関係に関する専門資料，日本政府刊行物，国際文化会館に関する出版物
特色	・会員制の図書室。利用対象は会館の正会員，図書会員（正会員以外が図書室のみを利用できる制度），宿泊者，紹介による来館者また紹介状による資料の利用も可 ・日本理解のための学術交流を活動の柱とし，日本研究を支援する事業・研修等の開催，日本研究関係図書の情報提供，国内外の日本研究専門図書館とのネットワーク構築の活動を展開。日本研究家，外交専門家，学術専門家，ジャーナリスト，芸術家等に対し資料，情報，機関・人物の紹介も行う ・国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスに加入 ・アーカイブ事業等については他財団の助成金も活用 ・「国際文化会館図書室ミッションステートメント」を策定，図書館としての役割を明確化